ロゴ

低い精度で自動的に生成された説明

**第2660地区**

**青少年交換インフォメーション**

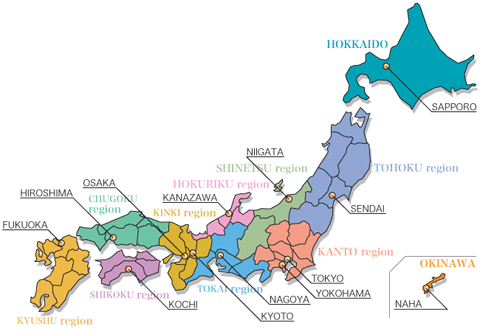
**学生と保護者へ**

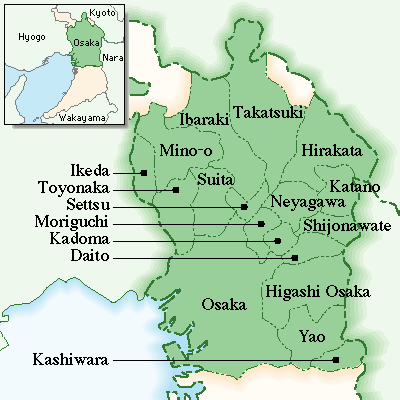
***条件 – 規則 – 期待する事***

**2025-2026**

**第2660地区青少年交換委員会**

**大阪 / 日本**

****

****

**Rotary District 2660, Osaka Japan**

Located in Kansai area of Japan, D.2660 is northern part of Osaka Prefecture.

The population of Japan stands at 125,700,000 with the population of Osaka Prefecture being 8,770,000.

Osaka is the third largest city in Japan and near to Kobe, Kyoto and Nara.

The climate consists of four very distinct seasons and the annual average temperature is 15℃.

However, the temperature can fall to 0℃ in the winter and reach 35℃ in the summer.

So we have 4 seasons.

***条件***

**交換留学の期間**：

交換留学の期間は10ヶ月から11ヶ月半の間とし、本国に入国する学生は、終業式から1週間以内あるいは7/31までに帰国しなければならない。（VISAの期限以内）

**日本への渡航**：

第2660地区に来る学生の到着地は関西国際空港あるいは伊丹空港とする。来日生は地区青少年交換委員会(YEC)と最初のホストファミリーに事前にフライトの詳細と到着時間を通知しなければならない。

**帰国**：

来日生はスポンサー地区のYECならびに第2660地区YECと相談して決めた日程と行程に沿って帰国するものとする。身内の死亡や疾病などの場合を除いて、変更もなければ変更のための話し合いもしない。

**両親／保護者**：

両親／保護者は交換留学が無事に行われるようにいくつかの責任を持つ。甘やかせ過ぎない程度に学生を支援することもその一つである。両親はロータリーが負担をしない被服費、娯楽費、個人旅行費、そして処々の費用など、学生に十分な経済的支援をしなければならない。

**両親／保護者の訪問**：

両親（親族）の訪問は特別な理由を除き禁じられている。それらの訪問は、一定のガイドラインの範囲内において、ホストクラブと地区の承諾を得られた場合においてのみ行われる。通常は、訪問は交換留学の第4四半期または学校の休み期間の間で調整され、主要な休日に調整されることは許されない。

**費用**：

両親、保護者または学生は以下を提供する:

1. 自宅から日本の最終目的地までの往復の航空券代金
2. 帰りの便の機内持ち込み及び預け入れ荷物の料金

荷物の超過料金支払いを持たないことで学生自身が恥ずかしい思いをするケースが度々ありました。

1. 学生の被服費及びその他学生の個人的に必要な費用
2. 旅行、お土産、贈り物、切手、国内／海外通話料などの費用を含む種々の個人的な支出
3. 万一のための準備金最低**300米ドル**。この準備金は緊急の旅費、被服費、予期しない主要な支出またはそれに似通った状況で使われるためのものである。到着時にこの準備金は学生の名前の下に預けられ、衝動的に使用されることを防ぐために、預けられた準備金の引き出しにおいては、学生並びに学生カウンセラーの見解が求められる。この費用は学生の帰国の少し前に返還される。
4. 「保険」の項目に要求され、詳細が記載されている全ての保険の費用
5. 医療費またはその他の保険適用外となる費用
6. 予定されている公式ツアー費用の一部として支出される**900米ドル**。

**新しい在留管理制度**：

外国人登録制度が2012年7月9日に廃止され、新しい在留管理制度が発効された。居住者カードは新しい在留管理制度導入により発行される。

居住者カードの発行(“在留”カード)

1. 該当者：3ヶ月以上の滞在を許可されて日本に居住する者へ居住者カードは発行される。

・居住者カードは短期滞在者または外交官や公的立場の者には発行されない

・特別永住者には、特別永住者証明書が居住者カードの代わりに発行される

1. 記載情報：顔写真に加え、氏名、国籍、生年月日、性別、在留資格、在留期間、就業許可がカードに記載される。
2. 発行場所：

・地域の出入国管理事務所：2012年7月9日より、中期から長期居住者に対して、成田、羽田、中部および関西空港にて居住者カードが発行される。しかしながら、その他全ての他からの入港地及び出港地を経由する者については、居住者カードは個人が入国時に市役所に届け出ている住所地に簡易書留にて郵送される。さらなる情報については、地方入国管理局、地区出入国管理事務所または支局に直接連絡してください。

1. 初めて外国から日本へ移動して来られた時、最初のホストファミリーの住所地の市役所に14日以内に届けてください。日本に到着した際に空港で発行された「在留」カードを持参するようにしてください。

**保険**：

**保険加入は一番重要な要件である。保険は予測できない費用に対する予防手段である**。国際**ロータリー**は全ての学生に医療費と不慮の死亡事故などをカバーするための保険加入を**要件とする**。青少年交換学生の両親または保護者は医療費及び事故に係る費用の支払いの責任を負う。

**入国する全ての学生はRIJYEM 保険プランに加入しなければならない。**

RIJYEM 保険プランに加入するには、RIJYEM のホームページへアクセスし、オンラインで加入申し込みをしてください。

**RIJYEM** ホームページ: <http://RIJYEC.org>

“RIJYEM Insurance Plan”のボタンをクリックして加入手続きを

開始してください。

お支払いにはビザカードかマスターカードが必要です。

日本に住所を持っている者は加入しなければならない。第2660地区のホストロータリークラブは、NHI(国民健康保険)の費用を負担する。

**ホストロータリー地区(第2660地区) ：**

ホストロータリー地区は学生へ期待することについて事前説明会を行う。事前説明会は到着後、速やかに開催される。

**ホストロータリークラブ**：

ホストロータリークラブは以下を提供する。

1. ホストファミリー。3つまたは4つのホストファミリー。ロータリーが承認したホストファミリーでなければならないが、ロータリアンである必要はない。
2. 学生カウンセラー。あなたは自分のカウンセラーと友好関係を築く必要がある。学生カウンセラーはあなたの交換留学の成功にとって一番重要な人物となる。あなたがアクティビティに参加する場合には学生カウンセラーの承認を得なければならない。
3. 就学費用。学校指定の制服、学費、教科書、ホストファミリー宅から学校までの通学費。(クラブ活動やその他任意の学科外アクティビティにかかる費用は学生本人の負担とする)
4. ロータリーによって学生が招待される行事や会議の、旅費や宿泊費を含む費用。(ページ6に言及の第2660地区必須ツアーを除く)
5. RIによって認められている月手当。毎月、次月分が支払われ、学生の判断によって使われる。**(月手当は1万円)**

**ホストファミリー**：

学生は積極的にホストファミリーの一員となり、通常家庭内で期待される役割や責任を引き受ける。学生は、種々のことについてホストファミリーの許可を得なければならず、課された門限なども受け入れなければならない。門限は午後9時。学生が午後9時より遅れる時、あるいはクラブ活動などが延長になる時などは、学生はホストファミリーに許可をもらわなければならない。ホストファミリーは、その他の家族も生活を楽しんでいるのと同様の全ての食事や生活条件を提供する。

***ルール***

**学校生活**：

学生はあなたのホストロータリークラブが指定した学校にて高校生活を送らなければならない。あなたは、学校の全てのアクティビティに参加することを求められる。一般的学業は修められなければならず、学校から定期的にレポートが提出される。**校則は厳守されなければならない**。

**学習する教科の単位は取得できないことにご注意ください**。

**法**：学生は常に**日本の法律に従わなければならない**。**違法ドラッグの所持および／または使用は違法であり許されない**。

**アルコール**：いかなる場所、いかなる行事またはアクティビティにおいても飲酒は許されない。

**喫煙**：喫煙は許されない。

**恋愛**：恋愛・1対1のデートは認めない。

**旅行**：学生は第2660地区の旅行規則を順守しなければならない。

**第*2660地区内の旅行***

　学生はホストペアレンツに許可をもらうこと。

**第*2660地区外の旅行***

　学生はホストクラブの担当者・青少年奉仕委員長を通じて、書面による第2660地区YECの許可をもらわなければならない。両親／保護者が日本を訪れる場合も同様である。学期中の私的理由の旅行に対しては、地区YECは原則許可しない。やむを得ず学期中の個人旅行が発生した場合、学校の許可をもらわなければならない。付き添いのない学生（来日してきている学生を含む）同士での旅行は、いかなる状況でも許されない。連絡先電話番号を含む完全な旅行日程表をホストロータリークラブ及び第2660地区YEC提出する事。

***日本国外への旅行***

日本国外への旅行は地区主催・クラブ主催の場合、また修学旅行のみ許可される。

それ以外の場合、交換期間中の日本国外への旅行はいかなる場合も許可されない。

交換期間終了時に保護者同伴でプログラムを完全離脱する場合は海外旅行も可。

**許可されないもの**：

**以下のアクティビティはいかなる場合であっても許可されない。**

1. 非動力付および動力付グライダーの使用
2. ハンググライダー(全てのタイプで)
3. 超軽飛行機の使用
4. パラシュートジャンプ、スカイダイビング、バンジージャンプ
5. 第2660地区YECが決定し、そして、一般に危険と言われるアクティビティ

(6) 上記(1)～(5)を含む貴方が加入している旅行・生命保険で補償されないすべての活動

　（保険証券を確認してください）

**その他許可されないアクティビティ：**

**タトゥーおよびボディピアス：**

個人の健康と衛生のために、交換留学中、学生はいかなるタトゥーおよびボディピアスは許可されない。日本の殆どの高校はタトゥーおよびボディピアスを禁止しています。すでにタトゥーのある生徒はトラブルを避けるために事前に学校の先生に相談して適切なアドバイスを得るようにしてください。

***本国送還***

**学生が以下の行いをした場合、学生の両親の費用の負担の下、本国に帰国しなければならない。**

1. 自動車やオートバイの運転
2. 違法ドラッグの所持または使用
3. 飲酒
4. 喫煙
5. ふしだらな行い
6. カウンセラーの許可のない無断欠席
7. 滞在する地元に馴染もうとせずホストロータリークラブに対して不満足な態度をみせること
8. 金銭や物品の窃盗
9. 刑事罰を犯すこと
10. ロータリーのイメージを傷つける行い

**上記の理由から早期の本国送還が考慮された場合、学生、学生のホストロータリークラブ、カウンセラー／国際奉仕委員長／クラブ会長、2名の地区YEC責任者、および学生の両親／保護者との協議により早期帰国が決定される。**

***期待されること***

あなたがロータリー交換留学生として我々の地区にこられることを、私たちは大変うれしく思っております。私達があなたに期待することは*条件*と*ルール*の箇所に詳細が書かれています。

あなたが日本で過ごすこの一年間、あなたは他の交換留学生の見本となります。あなたはロータリーの親善大使、あなたの国および特にあなた自身の親善大使ともなります。これが私共があなたに*条件*と*ルール*をしっかりと確認していただきたい理由です。加えて、あなたはロータリアン、奉仕クラブ、青年グループおよびその他の団体に対して、あなた自身やあなたの母国についてたびたびスピーチをしていただくことを求められます。これらはあなた自身を大使として成長させる良い機会となります。

日本は長い歴史と、旅行者に魅力を持つ国です。時には、あなたは日本の異なる地域に旅行する機会を提供される場合があります。その場合はあなたのホストファミリーまたは他のロータリーメンバーかローテックスメンバーと共に行くことになります。でも皆がそうした機会に恵まれるわけではないことも知っておいて下さい。もし幸運にもそのような機会があれば、その時は自分の旅行費を自分で負担すると申し出てください。

**YEC主催ツアー：**

第2660地区YECは各年付き添い付ツアーをいくつか提供しています。旅程や期間は年によって変わります。

これらのツアーは全ての学生が参加**しなければなりません**。ツアーの費用の内、**900米ドル**は学生の負担となります。この費用はあなたの日本到着後できるだけ早急にホストクラブを通じて第2660地区のYECに支払われます。(これらの旅行の総額はおおよそ**米ドル**です。学生は**900米ドル**を支払うことを求められ、地区が残りを支払うことになっています)

**持ってくるもの：**

日本の気候と習慣に合うようなものを持ってくるように心がけてください。もし**薬物治療**を受けている場合は薬を持参してください。

**最後に、私たちはあなたが日本の習慣になれてくれることを期待します。私たちの習慣があなたの国の習慣より優っているとは思っていません、ただそれらは違うだけです。ロータリー青少年交換プログラムの主目標は相互理解と親善の促進です。あなたと私どもの助力によってプログラムの完全な目的が達成できることでしょう。**

**私たちはあなたの到着と、ロータリー第2660地区と共に交換留学の年を成功させることを楽しみにしています。**

よくある質問

Q. 親善大使の役割は何ですか？

A. ロータリーの様々な行事、クラブ例会、12月に行われる地区大会などに参加しなければなりません。また2月～5月の間にロータリーの例会で少なくとも2回は30分間の日本語のスピーチをしなくてはなりません。

Q. プログラム中、守らないといけない一番大事なルールはなんですか？

A. 4Dルールです。 (ドラッグ、飲酒、喫煙、男女交際　は禁止)

これらのルールに違反した場合、即刻、交換は打ち切りとなります。

Q. 日本には何を持っていけばいいですか？

A. 個人の持ち物以外に必要なものは　１）有効なビザとパスポート　２）1年間のオープンエアチケット

３）緊急時のお金（300ドル）４）2回の研修旅行費用（900ドル）　５）冬のコート

６）民族衣装（あれば）

その他持っていれば便利なものは１）顔写真つきの名刺　２）ピンバッジ　３）自国の国旗

４）家族や近所の写真

Q. 日本に到着して、最初にしなくてはならない事はなんですか？

A. 1. あなたは**2025年8月16日～20日**に関西国際空港か大阪国際空港に到着するように求められています。その日にホストファミリーの家に行きます。

2. ホストファミリーと食事制限(アレルギーや好き嫌い等)、家のルールやお手伝いについて話し合う。

3. カウンセラーかホストファミリーと一緒に最寄りの市役所へ行き、国民健康保険証を申請する。

保険料はクラブが負担し、保険証は約2週間でホストファミリーの住所に届きます。

Q. 滞在中、どのようなサポートが受けられますか？

A. まず、担当のカウンセラーがつきますので、問題があれば自由にご相談下さい。

このカウンセラーは、あなたのホストクラブの中で青少年交換プログラムで豊富な経験のあるロータリーアンが担当し、あなたにとって連絡係となる人です。

また、英語もしくはあなたの言語を話すことが出来る歳の近いROTEXがアドバイザーとしてつきます。このプログラムをアシストしてくれるROTEXはロータリーの交換留学生として1年間の交換プログラムを終えた大学生です。

Q. 必要が生じた場合、滞在中どのように薬代や医療費を支払うことができますか？

A. まず、日本に出発する前にRIJYEMの保険に加入する事を求められます。次に1年以上の滞在VISAを持つ外国籍の人を含むすべての日本居住者には国民健康保険が適用されます。（保険料はホストクラブが負担します。）

この保険が医療費の70％をカバーし、残りの30％は来日前に加入したRIJYEM保険に書類を提出する事で返金されます。

Q. 日本国内で誰とどれくらい旅行ができますか？

A. 4つの種類の旅行が許可されます。1)学校の遠足　２）ホストファミリーとの旅行　３）ロータリークラブの旅行　４）地区委員会主催のキャンプ　すべての旅行にはロータリアンかホストファミリーの親、遠足の場合は学校の先生の同行が必要です。すべての旅行は事前にホストクラブと地区委員会への申請が必要です。学生が1人で行く旅行はどのような場合でも許可されません。

Q. 両親や親戚はいつでも私を訪ねてこれますか？

A. ホームシックになるのを避け、その時々の課題に集中できるように、家族との接触は推奨されていません。両親・親類の訪問は、ホストクラブと地区委員会に事前了承を得た場合、**春休み以降（3月20日頃）のみに許可されます**。両親・親類の訪問が地区やクラブの年間行事に支障をきたしてはならない。また、クリスマスやお正月など大きな祝日に計画されてはならない。

Q. 事前にどのような日本語をしっておけばいいですか？

A. 交換留学を成功させるためには、日本が第一希望である事が望ましい。日本語のスキルとしては、挨拶、感謝を表す言葉、謝罪、質問などの基本的な日常会話が前提となります。ただし常に覚えておいてほしい事は、信用を得る為には、各ルールを守るということを行動で示すことが大事であると言う事です。

それができなければ、言葉に何の意味もありません。

Q. 自分が通う学校を選んだり、学校を変えたりできますか？

A.できません。

Q. 学校で単位を取得できますか？

A. ロータリーは学校の単位について保証はできません。来日学生はを直接学校に問い合わせるか話し合う必要があります。

Q. 日本にいる間にタトゥやボディピアスをしてもいいですか？

A. 個人の健康と衛生のために、交換留学中、学生はいかなるタトゥーやボディピアスは許可されない。

日本の殆どの高校はタトゥーやボディピアスを禁止しています。すでにタトゥーのある生徒はトラブルを避けるために事前に学校の先生に相談して適切なアドバイスを得るようにしてください。

Q. ロータリーと青少年交換プログラムについてもっと知るにはどうすればよいですか？

A. スポンサークラブに詳細を尋ねるか、国際ロータリーのホームページをご覧下さい。